

東北地方 1か月予報

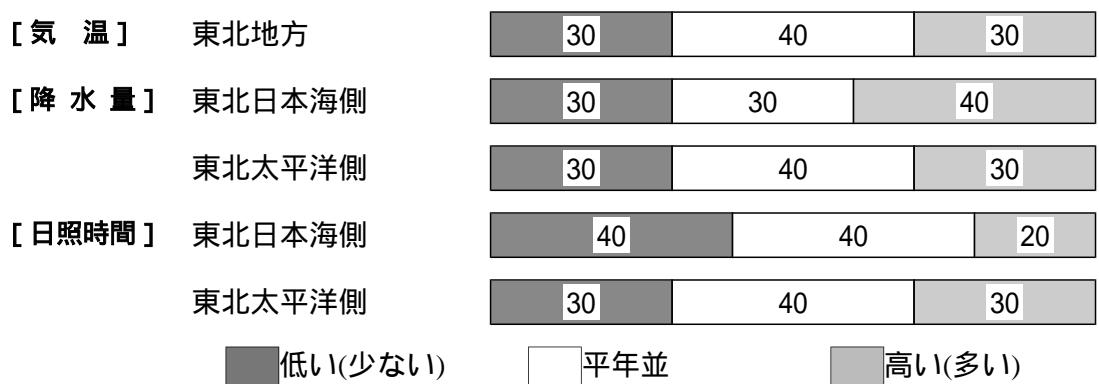
(5月12日から6月11日までの天候見通し)

平成19年5月11日
仙台管区気象台発表

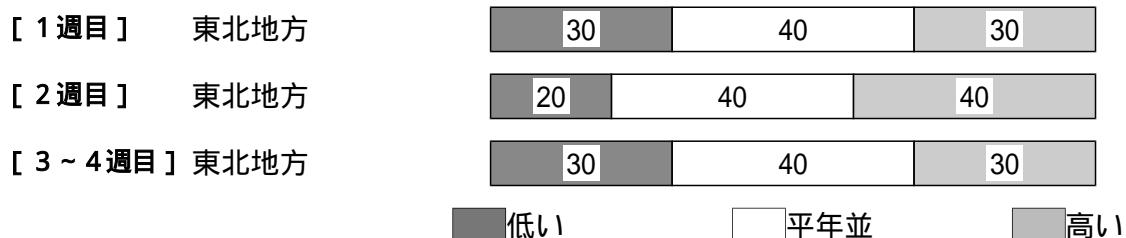
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は、数日の周期で変わるでしょう。期間の前半を中心に気圧の谷の影響を受けるでしょう。東北日本海側は平年に比べ曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
向こう1か月の日照時間は、東北日本海側で平年並または少ない確率がともに40%です。
週別の気温は、2週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 5月12日(土) ~ 6月11日(月)
1週目 : 5月12日(土) ~ 5月18日(金)
2週目 : 5月19日(土) ~ 5月25日(金)
3~4週目 : 5月26日(土) ~ 6月 8日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は5月18日
3か月予報:5月24日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	14.6	76.0	210.0	13.1	13.9	15.4
深浦	14.6	99.2	202.8	12.9	13.7	15.4
むつ	13.5	93.3	202.5	12.1	12.9	14.2
八戸	14.3	87.8	204.2	13.1	13.7	14.9
秋田	16.0	109.3	200.2	14.1	14.9	16.9
盛岡	15.6	97.1	191.0	13.8	14.6	16.5
大船渡	15.1	151.3	192.7	13.6	14.4	15.8
宮古	14.2	98.5	183.8	13.1	13.6	14.8
仙台	16.3	104.5	187.4	14.8	15.6	17.1
石巻	15.5	91.5	198.2	13.9	14.7	16.3
山形	17.2	77.6	200.3	15.4	16.2	18.1
新庄	16.1	95.1	184.5	14.1	15.1	17.0
酒田	16.6	100.0	205.4	14.8	15.6	17.6
福島	18.0	83.7	187.3	16.5	17.3	18.8
若松	17.3	74.6	198.1	15.3	16.3	18.2
白河	16.3	122.1	178.6	14.7	15.5	17.2
小名浜	16.3	131.3	192.1	15.1	15.7	17.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.4	84 ~ 110	96 ~ 108
東北日本海側	-0.4 ~ +0.4	81 ~ 113	96 ~ 107
東北太平洋側	-0.3 ~ +0.4	83 ~ 109	96 ~ 109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.4 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.4
東北日本海側	-0.4 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.3
東北太平洋側	-0.3 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年5月11日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(5月12日~6月11日):

天気は、数日の周期で変わらるでしょう。期間の前半を中心に気圧の谷の影響を受けるでしょう。東北日本海側は平年に比べ曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の偏りは小さい。

1週目(5月12日~5月18日):

期間のはじめと終わりは気圧の谷の影響で雨の日がありますが、期間の中頃は晴れる日もあるでしょう。

平均気温は各階級の偏りは小さい。

2週目(5月19日~5月25日):

天気は数日の周期で変わらるでしょう。気圧の谷の影響で、東北日本海側では平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

3~4週目(5月26日~6月8日):

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

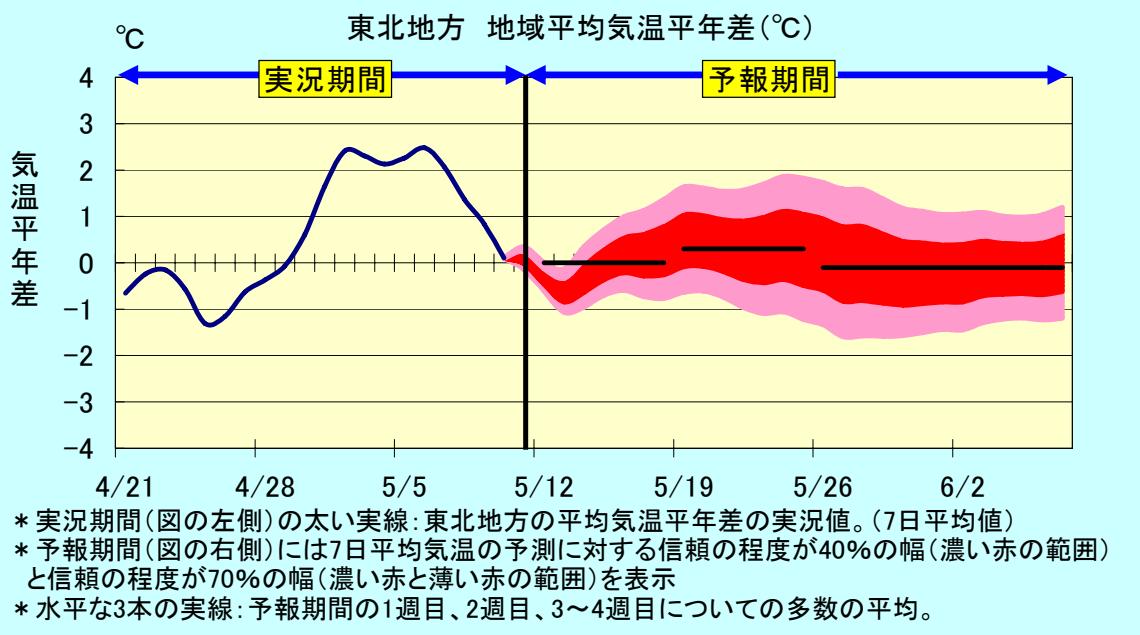
平均気温は各階級の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.1日	3.8日	3.8日	8.5日
東北太平洋側	15.6日	3.8日	3.9日	7.9日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目と3~4週目は平年付近の予想となつておらず、2週目は平年を上回る予想となっている。

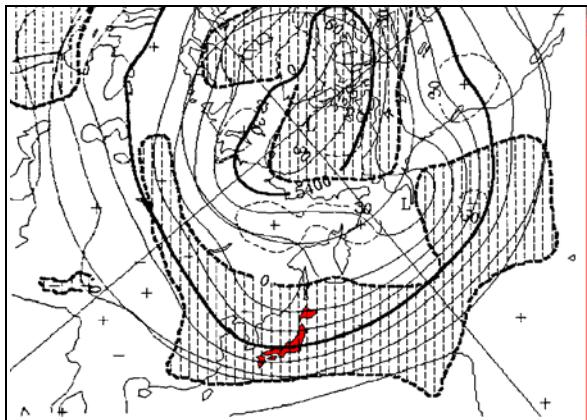


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均：日本付近は、中国大陸東岸から太平洋上にかけて広く負偏差に覆われるが、日本付近は弱いながらも西谷傾向であり、気温は平年並みで経過する見込み。

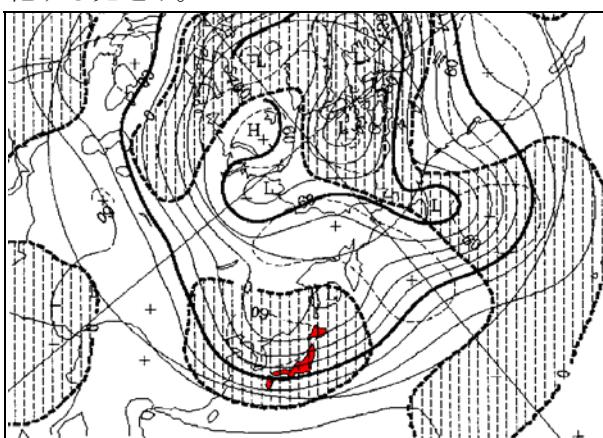
1週目：この期間、偏西風の蛇行が大きく、日本付近は谷場となり負偏差となるが、やや西谷傾向であり、気温は平年並みで経過する見込み。

2週目：日本を含む中緯度帯は広く負偏差に覆われるが、日本付近はやや西谷傾向であることと 850hPa 高度は正偏差であることから (図略)、気温は高めで経過する見込み。また、偏西風の蛇行が小さくなることから、天気は数日の周期で変化する見込み。



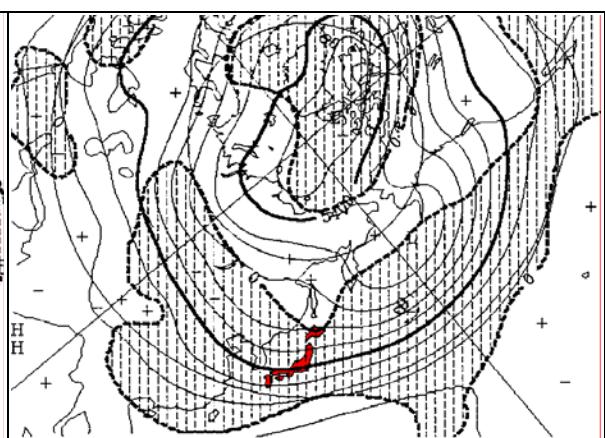
1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

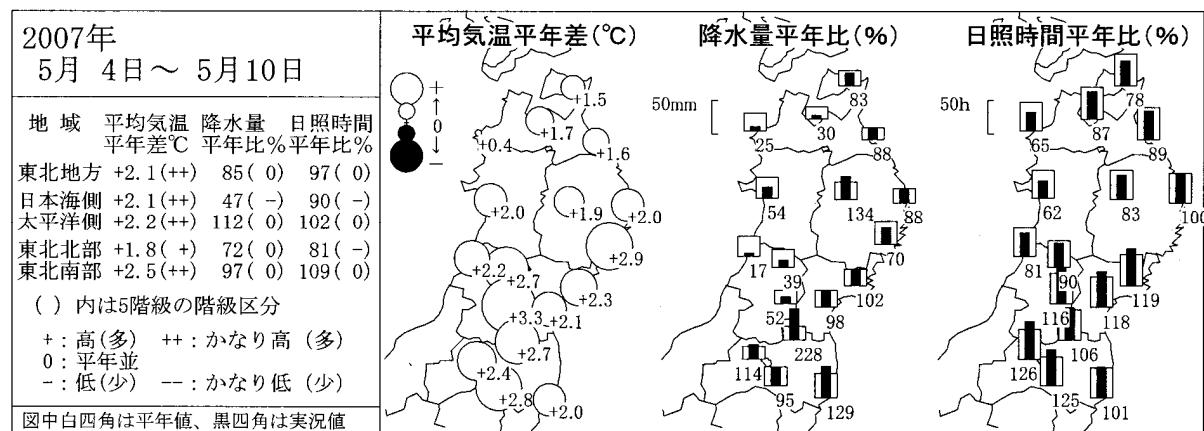


2週目平均 500 hPa 予想天気図

4. 最近1週間 (5月4日～5月10日) の天候の経過

この期間、気圧の谷や低気圧の影響を受けることが多く、曇りや雨の日が多かった。5日には気圧の谷が通過し東北北部では雷雨となるところがあった。6日から7日にかけては南岸低気圧が発達しながら三陸沖を北東進し、東北太平洋側を中心にまとまった雨となった。9日には弱いながらも高気圧に覆われて晴れるところが多かったが、10日には日本海から進む寒気を伴った低気圧が北陸付近から東進し、福島県では雷雨となった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）